

# ロシアによるウクライナへの侵略を非難する決議

## 討論要旨 山下幹雄議員

決議案、本当はもっと早くやれたらよかったというのが感想であります。

決議案の内容につきましては、十分理解し簡潔にされております。私も決議案の案としましては、議長に提出をさせていただいております。細かく私のほうはこのロシア、ウクライナ間の抗争につきまして話をさせていただきました。クリミアの件、そしてウクライナの独立からそうした流れのことににつきまして書かせていただきました。

しかし、もっと身近な話も書かせていただいたんですが、本市とウクライナの関係ということで、2005年、皆さんも御存じ、記憶にあると思いますが、愛知万博が開催されました。このとき長期にわたりましてウクライナから民族楽団、コザチェニキという民族楽団が長久手万博公園で演奏活動、そして交流活動を続けました。

このとき、このウクライナの民族楽団コザチェニキは、チェルノブイリの原発事故被災者救援を兼ねまして、その万博後もずっと活動されたんですが、このとき活動をされる拠点がこの尾張旭だったんです。尾張旭の具体的には霞ヶ丘のほうにずっと滞在をされて、ここを拠点に全国回られ、そしてこの市内でも文化会館や、そして市内の市立中学校、また施設を回りながら万博、そして原発、そういう被災者の苦しみ、そういったことを伝え続けた経緯があります。

記憶がもう十数年前になってしまいます。皆様の記憶から薄れているかもしれない。それか全く初めて聞くということもある方もあったかもしれませんが、私はそういったこと少しお手伝いをした記憶がありまして、何とか、今その友人たちが本当に苦しんでいる。

今日、中日新聞のほうに13日、名古屋のウィメンズマラソン、そこでゴールの地点で今、その反戦の活動をやっている。街頭活動、街宣活動をやっている人で名前が出ています。ベレジヌィイ・ビタリーというんですけども、彼は日本で今生活、お母さんや家族はキエフにいる。そのほか友達もキエフや近くにみんな住んでいて、毎日電話かかってきて、今日は大丈夫かと、そんな話をしている。新聞のほうに書いてありますが。その人が尾張旭のその地区を拠点にバンドも含めまして活動を展開したという記録と記憶があります。

尾張旭市はそういった方の記録、記憶の中で、子供たちも多分記憶に残しているんじゃないかと思います。ぜひ議員各位もそうしたことも何とか今日の私の話で記憶していただきながら、戦争について、またこうした人道的な支援について、ぜひ心を寄せていただきながら、心から決議をしていただきたいと思います、賛成討論といたしました。